

## NEWS RELEASE

2017年6月27日

各位

関西エアポート株式会社  
三井住友カード株式会社

**関西国際空港で、『Visa payWave』『Mastercard® コンタクトレス』の取り扱いを開始  
～お支払い方法の多様化により、空港でのお買い物やお食事がより便利に～**

関西エアポート株式会社（本社：大阪府泉佐野市、代表取締役社長 CEO：山谷 佳之、代表取締役副社長 Co-CEO：エマヌエル・ムノト）と、三井住友カード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：久保 健）は共同で、**非接触決済サービス『Visa payWave』<sup>(※1)</sup>『Mastercard® コンタクトレス』<sup>(※2)</sup>の取り扱いを、2017年6月30日（金）より関西国際空港で開始いたします。**

**本決済サービスを空港内の全施設に一斉導入<sup>(※3)</sup>するのは、日本の空港では初めての取り組みです。**

関西国際空港は、日本第二の経済圏に位置し、豊富な観光資源に恵まれた関西の主要都市にも隣接していることから、観光やビジネス利用に最適な関西の玄関口として、国内外の多くのお客様にご利用いただいています。これまで、各種クレジット決済サービスや交通系電子マネーを導入することで、より便利に空港でのお買い物やお食事を楽しんでいただける環境整備を進めてまいりました。

近年は特に、2016年度の年間航空旅客数が2,500万人を超え、うち約3分の2が訪日外国人であることから、訪日外国人向けサービスの拡充にも積極的に取り組んでいます。今後開催される国際的なスポーツイベント等を見据え、ますます海外からのお客様の増加が見込まれることから、海外のお客様によるご利用が多い本決済サービスの導入を決定いたしました。

お支払い方法の多様化により、お客様が現在お使いの決済サービスに柔軟に対応することで、空港でのお買い物やお食事がより便利になります。

関西国際空港では引き続き関係事業者と協力しながら、お客様に空港でのひとときをより楽しんでいただくため、利便性の高いサービスを提供してまいります。

### ○関西国際空港で利用いただける決済サービス

<従来より引き続きご利用可能なサービス>

Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners、銀聯、Alipay  
iD、楽天 Edy、WAON、PiTaPa、ICOCA 等の交通系電子マネー

<2017年6月30日よりご利用可能なサービス>

Visa payWave、Mastercard® コンタクトレス

※1 「Visa payWave」は、日本国内を含む世界71の国と地域で展開されている、世界基準のセキュリティ技術であるEMVの認証技術を活用した、かざすだけで支払いが可能な非接触決済です。

※2 「Mastercard® コンタクトレス」は、Mastercardが提供する非接触決済サービスです。

※3 一部取扱い対象外となる店舗がございます。

- \*「iD」は、株式会社 NTT ドコモの商標です。
- \*「PiTaPa」は、株式会社スルッと KANSAI の登録商標です。
- \*「楽天 Edy」は楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。「楽天 Edy」は楽天 Edy 株式会社の登録商標です。
- \*「WAON」はイオン株式会社の登録商標です。
- \*「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- \*「Alipay」は、オリックス株式会社がサービス提供しています。

以上

**◆本件(ニュースリリース)に関するお問い合わせ先◆**

関西エアポート株式会社	／コーポレートコミュニケーション部	TEL : 072-455-2201
三井住友カード株式会社	／経営企画部 広報室	TEL : 03-5470-7240

Shaping a New Journey



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、 管理受託業務等	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% <sup>1</sup>



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である“「金融+サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス13空港、ポルトガル10空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア3空港、日本2空港、ドミニカ共和国6空港、そしてチリのサンチアゴ空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2016年の旅客者数は1億3,200万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万1,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016年の連結売上高は10億5,000万ユーロに達します。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構